

情報提供ファイル

マイクロ波聴覚効果を利用した脳内音声通信システム;幻聴発生装置は人間が関わっているのか???

日本は防衛省電波部という部門があります。電波は、慣例として、人体に害があるがその有無とは無関係に国民の中で好ましくない生活者を盗聴したり、電子メールを盗み読みしたり、生活をチェックしたり、メールの書き込みを読むなどのスパイ活動をしています。

刑事事件の有無とは無関係に、通信傍受法に違反して非合法に生活盗聴などを行っています。そうだとしたら、大変な事件である… つまり着替え、風呂、トイレ、裸体などの様子も全ては盗撮されているのだから、プライベートが侵害され放題です。

常に国民達被害者の行動が人工知能側に筒抜け状態で監視されているのです。

人間によるテクノロジーストーカー、思考盗聴および視覚盗撮によって行われているとしたら、国民自身が、実際に目で見ている光景、あなたの裸体、風呂、トイレがリアルタイムで命令する人間側に覗き見られている筈だ。

つまり毎日、覗き見を命令する者にされているという事になる。
「脳内音声送信」で何より問題なのは、この覗き見というプライバシー侵害だ。

そこで軍事レーダーにマイクを接続する通信システムが開発されました。
この通信システムでは、マイクに向かって話しをすると、レーダーのアンテナからマイクロ波が発射され、直進して人に当たって、人の頭の中でその話しが聞こえます。

要するに、何も無いところから人の声が聞こえ、幻聴を引き起こせます。

このように等間隔に電磁波を頭部に照射したとき、「ポン」、「クリッ」という音が頭の中に聴こえるだけであり、はっきりした音声は伝達できません。

そこで、送信機からパルスを発射するタイミングを工夫して、音声の波形を脳に直接、伝達する研究がされました。

2006年12月に、米国陸軍が「非致死性兵器の一部の生体効果」という題名の報告書を情報公開し、永年秘密にしていたマイクロ波聴覚効果を利用した通信システムを公表しました。

この通信システムは、非致死性兵器でもあり、電磁波兵器でもあります。この通信システムが、マインド・コントロールに悪用されているのです。

基本的には、強烈な電波を人間の脳に発射しているが、電波は眼に見えず、証拠が残らないから完全犯罪がされています。

結局、思考盗聴の技術は マイクロ波を利用して、脳の活動から思考を解読することができます。換言すれば、人の生活を読むことができます。信じられないでしょうが、脳科学は軍事技術として極めて高度なレベルを達成しているのですが、一般には軍事技術として秘匿されています。

この通信システムでは、あなたが思考するだけで、あなたの脳波を分析することにより、人工衛星を使って、その思考を遠隔地に伝達します。
その場合あなたが視覚的に目を見たものがストレートに人工衛星に送信され続けられている訳です。

この通信システムでは、電話、ファックス、電子メールを使わないので、National Security Agency (NSA) が運用しているエシロンに捕捉されず、秘密に通信することができます。

人工衛星を経由して、生活情報を送信するのは、現実にシステムが構築されています。

軍事通信システムはあまりにも先端技術なので、一般には信じられないものです。
日本の防衛省はテレパシーを使い分け、上記の技術を組み合わせて、テレパシーを実用化しています。
日本の防衛省技術研究本部先進技術推進センターは米国の DARPA からテレパシー技術を導入しました。

防衛省技術研究本部先進技術推進センターには、情報本部というスパイ組織を担当する部門があり、その傘下の自衛隊には情報保全隊というスパイ組織があります。

情報保全隊は、調査隊という部門が名称変更されました。

情報本部には、電波部という部門があります。

電波は、慣例として、人体に害があるがその有無とは無関係に国民の生活を盗聴したり、電子メールを盗み読みしたり、生活をチェックしたり、メールの書き込みを読むなどのスパイ活動をしています。刑事事件の有無とは無関係に、通信傍受法に違反して非合法に盗聴などを行っています。

情報保全隊は、全国に設けられている通信所に勤務して、シギントに従事しています。
シギント (SIGINT; signal intelligence) とは、通信、電磁波、信号等を媒介とした諜報活動です。

通信所は、埼玉県大井通信所などがありますが、陸上自衛隊の駐屯地 (例えば、東京都練馬区の朝霞駐屯地) にも情報保全隊の隊員が配備されているようです。

しかし、現実には、シギントと称して、上述したマイクロ波を利用した通信システムを使って、ターゲットとなった国民の脳に音声を聞かせ、マインド・コントロールを行っています。

防衛省情報本部を頂点とする自衛隊のスパイ組織と、公安警察が協力関係にあることから、自衛隊のスパイが日本国内で非合法活動をして、警察が介入せず、非合法活動を放置しています。

つまり人体実験を認めている。

だからこそ、脳内音声で命令して、国民同士を争う様に仕掛ける行為が実在します。

しかし、着替え、風呂、トイレなどの様子も盗撮されているのは犯罪という他ありません。

以上